



農作業一口メモ

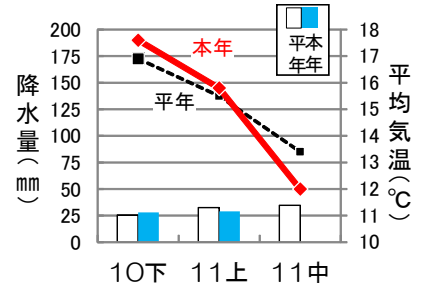
(平成26年12月号)

鳴門藍住農業支援センター
鳴門藍住地区農業生活指導班会

鳴門市・松茂町・北島町の農作業メモ

気象 <四国地方 1ヵ月予報(11月22日~12月21日)>

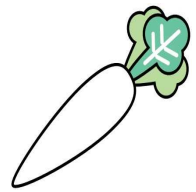
平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
この期間の平均気温は、平年に比べて高い可能性が高く、降水量は、平年並または多い可能性が高いでしょう。
日照時間は、平年並または少ない可能性が高いでしょう。
(平成26年11月20日高松地方気象台発表より抜粋)



だいこん <12月の管理について>

【露地だいこん】

- 9月上旬から中旬に播種したものが収穫期となっていますが、今年は10月末までに台風が多く襲来し、収穫が遅れているほ場もありました。また、降雨後の肥料養分の流出と思われる生育の遅れもみられました。
- 品種により収穫適期が異なります。その品種の特性がもっとも発揮できる大きさに肥大したら、早めに収穫しましょう。収穫が遅れますと「す入り」や「ワッカ症」の発生が多くなります。「適期収穫」に努めましょう。



【トンネルだいこん】

- 本葉が10枚程度となり、密閉管理からマルチの穴あけ(換気)開始時期となってきます。生育に伴って徐々に穴数を増やしていきましょう。また、播種後60~70日以降は思い切った換気を行い、根部の肥大を促しましょう。早期抽台や寒害、短根の発生がこの作型では大きな問題です。注意しましょう。
- 生育後期(収穫前1ヵ月間)は乾燥防止、根部の肥大促進のため適宜かん水しましょう。
- 病害虫の発消長を把握し、系統の異なる薬剤のローテーション散布で効果的に防除をしましょう。コナガ、アブラムシ、黒斑細菌病に注意します。

にんじん <生育初期の管理について>

- 適期換気に努めましょう。被覆内気温は、土寄せ時期の本葉5~6枚まではやや高温の30°Cを目安とし、初期の生育を促しましょう。その後は、28°C以上にならないように外気が高温になるにしたがって換気孔をふやします(目安は23~25°C)。



- 生育初期の乾燥に注意しましょう。
- 本葉3~4枚頃までに7~9cm間隔に間引きましょう。
- 本葉5~6枚頃に芯葉が埋まらない程度に充分土寄せし、青首を防ぎましょう。

なのはな <12月の管理について>

- 追肥は、肥切れしないよう出蕾前からこまめに行いましょう。ただし、過剰な追肥は異常花蕾となるので注意が必要です。また、追肥時に土寄せを行いましょう。



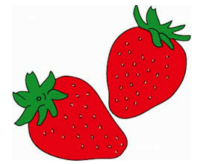
- かん水は、乾燥や過湿にならないように適宜行いましょう。

ブロッコリー・カリフラワー・キャベツ <定植後の管理について>



- ブロッコリー・カリフラワーの追肥は、2～4回に分けて施し、花蕾が500円玉くらいの大きさになったら、それ以降の追肥をやめましょう。
- カリフラワーは花蕾の上に外葉を2～3枚折り込み日よけにしましょう。日よけをしないと日が当たったところは黄色くなります。
- キャベツは定植1ヵ月後の1回目の追肥に続いて、2回目の追肥を行いましょう。追肥時期の目安は、通路が外葉でふさがれ、結球が開始される前です。
- また、病害虫の発生が少ない時期ですが、予防として殺菌・殺虫剤の散布を行っておきましょう。

いちご <12月の管理について>



- 電照、保温（加温）も始まり、収穫時期となりました。収穫期間中は、草丈が25cm程度になるよう電照条件の調整、温度管理（昼間22～25℃、夜間5～6℃を目安）、水分管理等に注意しましょう。
- 草勢が旺盛になりすぎた場合、地下部とのバランスが崩れ、株疲れの原因となります。また、生育期間全般にわたり、土壌水分の変化をできるだけ少なくし、冬場のかん水は午前中に行い、夕方までに地温を上昇させるように努めましょう。
- 収穫時は、果実の温度をできるだけ低い状態で維持し、品質保持に努めましょう。

落葉果樹 <休眠期の病害虫対策について>

- カイガラムシ類、ハダニ類等の越冬害虫対策として、機械油乳剤が有効です。今年大発生したニセナシサビダニにも効果的と思われます。
- 柿においては粗皮削りも防除効果が高く、粗皮削り後に機械油乳剤を散布すると非常に効果的です。
- 落葉、病果は翌年の病害の発生源となりますので、土中に埋没する等、できる限り処分しましょう。

トピックス <短葉性ねぎの生育状況と管理について>

8月のお盆明けに定植をしたほ場では、収穫近くになっています。11月中旬の目慣らし会で、掘ってみると、軟白部の太さは2～3cm程度と、短葉性ねぎ「ふゆわらべ」の特徴がしっかり現れていました。今後の栽培管理としては、軟白部の長さ確保のため、土寄せと追肥を収穫前にもう一度行うようにしましょう。



鳴門藍住農業支援センターのホームページでも掲載しています。

http://www.pref.tokushima.jp/shien/naruto_aizumi/

※提案・お問い合わせについては、鳴門藍住農業支援センターまで

電話番号：088-692-2515